普及現地情報

発信年月日：令和7年(2025年)7月10日
所　属　名：湖東農産普及課
番　　号：F25008
発 信 者 名：川村容、數野、来山、河村

「きらみずき」現地研修会を開催

6 月 27 日、管内「きらみずき」生産者を対象に、当課と JA 東びわこの共催で現地研修会を開催し、生産者 16 名、JA 営農指導員等関係者合わせて23 名が参加しました。

令和 7 年度、湖東地域では生産者 26 名が約 29ha で「きらみずき」を栽培しています。令和6年産は生育途中の栄養凋落等により低収となりました。そのため、研修会では、「きらみずき」の栄養状態が出穂期まで良好に維持されるよう、葉色に応じた追肥施用、適切な穂肥施用について生産者へ理解を促すことを目的に開催しました。

現地ほ場では、葉色板を用い参加者自ら葉色を確認してもらいながら、有機質肥料による穂肥施用のポイントや、畦畔の雑草管理による斑点米カメムシ類対策等について当課から説明を行いました。参加者は、他の生産者のほ場を確認したり、互いの水稲の生育状況について意見交換することで、「きらみずき」の今後の栽培管理について理解を深めることができました。

研修会終了後、希望された参加者のほ場を関係機関とともに巡回し、追肥の要否や穂肥施用時期等について個別に助言しました。本年は、緑肥活用の「きらみずき」において還元障害や肥効発現の遅れから、分げつ確保が遅れているほ場があるものの、全体では良好な生育経過をたどっています。

本年は梅雨明けが平年より3週間程度早く、猛暑になることが予想されるため、今後、栽培管理情報の発信やほ場巡回等、関係機関と連携し、「きらみずき」の安定生産にむけた支援を行います。

「きらみずき」栽培ほ場を前に肥培管理のポイントを説明
（左；稲枝地域、右；愛荘・豊郷・甲良地域）